

『防災まちづくりセミナー・意見交換会』を 開催しました！

6月15日(木)、6月22日(木)、6月29日(木)、各町町内
会長や防災部長、住民のみなさま総勢59名の方にご参加いただき、
『防災まちづくりセミナー・意見交換会』を開催しました！

ご参加頂いた
みなさま、ありがとう
ございました。

セミナー・意見交換会では、災害につよいまちづくりに向けた**すぐに取り組む具体的な
対策の事例紹介や道の仕組み、京都市の耐震助成制度**などについて確認するとともに、「町
内での『防災まちづくり』の**基本方針**」や「**基本方針を踏まえた具体的な対策**」などに
ついて意見交換を行いました。

今後も、すぐに取り組む具体的な対策を進めるとともに、「**児童ポーン(子どもまつり)**」
や「**区民運動会**」、「**総合防災訓練**」等で、ご意見を頂きながら、地域のみなさんと一緒に
「**防災まちづくり**」の取組を進めていきます。引き続き、ご協力よろしくお願ひします！

第1回

開催日：平成29年6月15日(木) 延べ22名参加

『いえ』・『みち』・
『まち』・『コミュニティ』
について、各町内での
具体的な対策を意見交換



第2回

開催日：平成29年6月22日(木) 延べ14名参加



第3回

開催日：平成29年6月29日(木) 延べ23名参加



ご参加頂いた方々から
たくさんのご意見を
頂きました！
(裏面へつづく)

■ 『いえ』と『みち』に関する主なご意見を紹介します！

『いえ』について

方針1 家の中の安全対策に取り組む

- ・自分の命を守ることが一番大事。すぐにできる対策もある。
- ・家具の固定、タンスの上に物を置かないなど、まずは家の中の安全対策を考え、自分で行動することが大事。
- ・学校で避難の仕方などの教育が必要。子どもにもわかりやすい内容であれば、お年寄りまでみんながわかりやすい。



方針2 地震に強い家づくりに取り組む

- ・まずは自分の家から耐震・防火改修を行うことが大事。
- ・火災が怖い。住宅の壁や屋根など、住宅の外側の防火が大切。
- ・借家が多く、耐震化には所有者の確認や整理が必要。

方針3 空き家等対策に取り組む

- ・空き家の適正管理、所有者の把握と所有者への啓発を行う。
- ・空き家が増えてきており、今後が心配。民泊として活用されてきている。
- ・ゲストハウスとして活用されるよりも、空き家を活用して若者に住んでほしい。
- ・ゲストハウスは、管理者とコミュニケーションをとり、災害時の対応を確認する。

方針4 災害時の避難経路を確認・共有する

- ・災害時の避難経路は、町内全員が考える必要がある。
- ・避難経路等の共有はできているが、確認ができていない。
- ・路地が多く、古い建物も多い。路地の入口が狭くて避難が心配。
- ・敷地が狭くてセットバックができない、路地奥で建替えが難しいところもある。



方針5 路地を日頃から適切に管理する

- ・敷地から飛び出して駐車しているところがある。
- ・駐輪が多い。適正管理が大事。



方針6 安全に避難できる「路地」をつくる

- ・大きな通りに繋がる路地の幅員はしっかりと確保したい。
- ・行き止まりの道は不安。
- ・千本通に抜ける路地沿いは、避難路として耐震化できると良い。

方針7 骨格となる道の安全性を高める

- ・家が古く、密集している箇所はセットバックや耐震・不燃化が重要。
- ・道幅が狭く、電柱があり車両が入れない。セットバックや路地に物を置かないなどの対応が必要。
- ・将来的にセットバック部分を道路状に整備できると良い。

次回 (Vol.7) では、『まち』と『コミュニティ』について紹介します！

『みち』について

■ 8月26日 (土) 『児童ポーン (子どもまつり)』で

「防災まちづくり」の取組をPR!!

8月26日 (土) に正親小学校にて開催される『児童ポーン (子どもまつり)』で、16時から18時までの2時間、紙工作 (紙ぶるるくん) など、楽しみながら「防災まちづくり」の取組についてPRを行います。ぜひご家族でお越しください!!